

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和 年 月 日

協議会名: 石狩市地域活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)	
石狩市地域公共交通 活性化協議会	運行系統名: 浜益南北方面 運行区間: 雄冬や柏木などの 各戸から幹線交通に接続また は浜益温泉や診療所などまで (予約制デマンド方式)					
	運行系統名: 浜益東方面 運行区間: 浜益、柏木、川下、 実田、御料地各戸から幹線交 通に接続または浜益温泉や診 療所などまで (予約制デマンド方式)	地域間幹線系統(中央バス札 厚線)の運行ダイヤの改正に 対応して、運行時間を見直し、 接続を改善した。  地域公共交通網形成計画に 基づき、乗り継ぎ拠点である道 の駅にパンフレット等を備え置 いたほか、中央バス車内にお いて乗継アナウンスを行い、利 用促進に向けたPRに努めた。	A	A	【事業の目標】 年間利用者数(令和4年10 月～令和5年9月) 目標: 1,294人 実績: 1,478人 運行を年々積み重ね、利 用者は増加傾向に推移して いる。	引き続き利用者ニーズの把 握に努め、運行委託事業者と 連携して利便性等の向上に向 けた改善を図っていくとともに、 さらなる利用者増に向けてより 一層の周知を図る。 また、運行の安全対策を徹底 し、利用者の安寧な移動環境 が創出できるよう努める。
	運行系統名: 厚田方面 運行区間: 浜益区内各戸から 北海道中央バス札厚線に接続 (予約制デマンド方式)					

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)【記載例】

令和〇〇年〇月〇〇日

協議会名: 〇〇市公共交通活性化協議会  
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議会が複数の事業(幹線/フィーダー等の区分)を実施している場合には、事業ごとにシートを作成する。

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
〇〇交通(株)	運行系統名:〇〇線 運行区間:〇〇~〇〇~〇〇 運行回数:〇〇回 運賃:〇〇〇円 【車両減価償却費等国庫補助】	ダイヤを見直し、〇〇における地域間幹線系統との接続を改善した。	計画通り事業は適切に実施された。	高校生の利用が想定を下回ったこと等により、輸送人員は目標50人/日に対し38人/日であった。 車両の取得時期が、〇カ月遅れたことにより、費用削減効果が十分に現れなかった。	高校生を対象としたモビリティマネジメント(学校MM)を実施するとともに、下校時のダイヤ設定の見直しを検討する。 今後の改善点を具体的に記載する。
「系統名」「運行区間」「運行便数」「運賃」等を記載する。 車両減価償却費等補助を受けている協議会については【車両減価償却費等国庫補助】と、公有民営方式車両購入費補助を受けている協議会については【公有民営方式車両購入費国庫補助】記載する。		生活交通確保維持改善計画に基づく事業が適切に実施されたかを3段階で評価するとともに、実施内容についても具体的に記載する。 A:事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。 B:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。 C:事業が計画に位置づけられたとおりに実施されなかった。		車両減価償却費国庫補助等を受けている協議会については、生活交通確保維持改善計画の目標に対する達成状況も記載する。 生活交通確保維持改善計画に位置づけられた定量的な目標・効果が達成されたかを3段階で評価するとともに、事業実施の定量的な目標・効果に対する達成状況を具体的に記載する。(複数の目標が設定されている場合には、それぞれについて評価を行う。目標を達成できなかった理由の分析についても記載。)	
前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持計画に反映させた上で事業を実施したのかを具体的に記載する。		【注意】計画を概ね実施している場合であっても、実施されない点がある場合はA評価とはならない。		A:事業が計画に位置づけられた目標を達成した。 B:事業が計画に位置づけられた目標を達成できていない点があった。 C:事業が計画に位置づけられた目標を達成できなかった。	
				【注意】目標を概ね達成している場合であっても、達成できていない点がある場合はA評価とはならない。	

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和 年 月 日

協議会名:	石狩市地域公共交通活性化協議会
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>石狩市は札幌市の北側に位置し、南北に長く日本海に面している。面積は721.86km<sup>2</sup>、人口は約58,000人である。北海道中央バス札幌浜益線は、浜益区の区間が不採算路線となり、平成28年3月31日に廃止となった。</p> <p>また、石狩市全体の高齢化率は33.9%(令和5年10月時点)であるのに対し、浜益区の高齢化率は57.1%(令和5年10月時点)と浜益区の高齢化が著しいことから、高齢社会における地域住民の生活交通の確保が重要である。</p> <p>このようなことから、事業採算性を意識しながら高齢者等交通弱者の「生活の足」を確保するための、利便性が高く、将来にわたって持続可能な公共交通体系を構築する必要がある。</p> <p>そのため、浜益区における高齢社会や住民ニーズに即し、かつバス交通に関する財政負担の軽減のため、浜益区内全域を網羅するとともに、地域間幹線系統(北海道中央バス・沿岸バス)との接続を目的とした、持続可能な地域旅客運送サービスを提供し、区民の生活利便性の向上を図ることを目的とする。</p>

## 事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について【記載例】

令和 年 月 日

協議会名:	〇〇市公共交通活性化協議会
-------	---------------

評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
----------	----------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>〇〇市は〇〇県西部の山間地域に位置し、面積は・・・人口は・・・(概況について簡単に記載) 近年では人口減少・高齢化が進展しており、民間バス路線が相次いで撤退するなど、地域公共交通の存続が危機に瀕している状況にある。しかし、誰にとっても安心して暮らせる地域づくりのためには、来訪者を含めた、誰もが安心して移動することができる地域公共交通システムの構築が必要不可欠である。その一環として、中でも、高齢者や学生の足の確保を主たる目的とし、「域内の主要集落から、総合病院・高校への移動手段を確保する」ことを目標に掲げ、地域間幹線系統と接続するフィーダー系統(デマンド型・路線型)を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。</p>
-----------------------------	---

前段で市町村の概況について簡潔に記載するとともに、生活交通確保維持改善計画にある事業実施の目的・必要性を具体的に記載する。

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

令和 年 月 日

協議会名：  
\_\_\_\_\_

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)【記載例】

令和 年 月 日

協議会名:〇〇市地域公共交通協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における主な交通乗降調査の実施</li> <li>・地域住民のニーズ調査(アンケート調査、意見交換会)</li> <li>・〇〇〇〇〇</li> <li>・〇〇〇〇〇</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的データの整理や地域における主な交通乗降調査の実施により、〇〇〇について把握した。</li> <li>・アンケート調査や住民との意見交換会により、公共交通を利用する住民の時間帯別、場所別の移動需要を把握した。</li> <li>・今回実施した各種調査から、潜在的な需要も含め、地域に適した交通モード、ルート、ダイヤについて検討し、協議会に諮るための計画素案を作成した。</li> <li>・今後は協議会の検討を経て、将来に繋がるような地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。</li> </ul>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、パブリックコメントの実施及び協議会の検討を経て、令和〇年度末に〇〇市公共交通計画として最終的にとりまとめる。計画の素案の概要は次の通り。</li> </ul> <p>対象区域 〇〇市内全域          計画期間 令和〇年度から令和〇年度          基本理念 〇〇〇〇〇〇          基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域にとって最適な公共交通の推進</li> <li>2 〇〇〇〇〇〇</li> <li>3 〇〇〇〇〇〇</li> <li>4 〇〇〇〇〇〇</li> <li>5 〇〇〇〇〇〇</li> </ol>
<p>予定していた調査項目について、事業評価時点で完了している内容については、その内容を簡潔かつ具体的に記載する。          一部完了していない調査項目がある場合は、今後何をする予定なのかを具体的に記載する。</p>		<p>事業評価時点で計画の素案まではできている場合、取りまとめようとしている計画のポイントについて簡潔かつ具体的に記載する。          素案まで進んでいない場合には、ここまでの調査結果を踏まえ、どのように取りまとめようとしているのかを簡潔かつ具体的に記載する。          ※より具体的な内容については、別紙4に記載してもらうこととなるが、本様式(別紙2)でも、改善点等あればその方向性も含めてきちんと記載する。</p>

## 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業)

令和 年 月 日

協議会名：  
\_\_\_\_\_

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)

# 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画推進に係る事業) 【記載例】

令和 年 月 日

協議会名:〇〇市地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)
<p>モビリティマネジメントの実施【〇〇市・△△バス・××】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内バス〇〇系統沿線において、住民300戸を対象としたモビリティマネジメントを実施。</li> <li>情報提供ツールには、事業者が作成している既存の路線図及び時刻表を提供するとともに、事前・事後の交通行動をそれぞれ答えてもらうコミュニケーションアンケートを同封し、地域の各家庭に配布。</li> <li>その結果80戸より回答があり、行動変容率は25%となった。</li> </ul> <p>[参考:年度ごとの目標] 平成25年度:MM実施1地区400戸→結果:300戸 平成26年度:MM実施2地区800戸 平成27年度:MM実施4地区1400戸</p>	<p>A 計画通り事業は適切に実施された。</p> <div data-bbox="840 694 1288 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業項目ごとに評価を実施することが望ましい</li> <li>・年度ごとの目標を設定している場合は、</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・MMは継続的に実施することが非常に有効であるため、同地域において引き続きMMを実施。</li> <li>・情報提供ツールとして、今年度は既存のものを用いていたが、次年度は地域特性や個人属性に応じたグッズを作成することで、より効果的な情報提供を実施。</li> <li>・市内の他の地域においても同様の手法によってMMを実施。</li> </ul>
<p>学校MMの実施【〇〇市・〇〇バス・市内各小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内の小学校10校を対象とし、児童に対して自動車と公共交通を使った場合の環境負荷や健康に関する教育を実施。</li> <li>併せて、バス事業者の協力を得て、校庭においてバスの乗り方教室実施。</li> <li>8月から市内10校のうち4校でMMを実施。うち1校はバスの乗り入れができず、乗り方教室は未実施。</li> <li>1～3月にかけてその他3校での実施を予定している。</li> </ul>	<p>B</p> <p>当初予定していた10校のうち、実施予定を含めて7校で実施できる見込みとなっている。残りの3校については、カリキュラムの関係で調整がつかなかった。</p> <div data-bbox="1041 1125 1377 1220" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>実施できない場合は状況とその理由まで記載。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も同程度の小学校を対象として学校MMを実施。</li> <li>・今年度実施できなかった小学校を優先的に調整し、次年度は早い時期から実施する。</li> <li>・併せてバス事業者と連携し、児童向けの教育ツールの充実を図る。</li> </ul>
<p>市内バス事業者の行先表示統一【〇〇市・△△バス・〇〇バス】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の利便性向上のため、市内の△△バスと〇〇バスの行先表示を統一するために、〇〇協議会が主催の検討会を開催。</li> <li>各事業者の代表者を集め全4回に渡って議論を行った。</li> <li>議論の結果、事業者間の調整を図ることができず、今年度中の表示の統一には至らなかった。</li> </ul>	<p>C</p> <p>事業者間の調整に難航し、当初予定していた事業を実施することができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者同士の調整を図るため、引き続き検討会を開催するとともに、住民に対しても、事業の必要性について調査を実施。</li> <li>・事業実施後に想定される利便性の向上を事業者に示すことで、事業に対する理解を得るようにする。</li> <li>・次年度は、今年度中に整備できなかった部分を整備することを優先し、利便増進実施計画の見直しを行う。</li> </ul>

